

特産品栽培の担い手育成のために

シイタケ栽培講習会



シイタケ収穫を体験する参加者

3月6日、シイタケ栽培の講習会が、下黒坂のほだ場で行われました。これは、「日野町がんばる地域プラン事業」の一環で、町の特産品であるシイタケを栽培する担い手を育成する目的で開催されています。今回は、シイタケ生産者の廣瀬俊介さん（黒坂）と、地域おこし協力隊の坂田龍之介さん（本郷）を講師として、シイタケの収穫体験と、ほだ場の見学会が行われました。

参加者は、大きく育ったシイタケを収穫しながら、栽培の疑問点などを講師に質問していました。

日ごろの感謝の気持ちを込めて

日野中学校吹奏楽部「桜薫るコンサート」



素晴らしい音色が会場に響き渡る

日野中学校吹奏楽部が、地域の人や保護者への日ごろの感謝の気持ちを込め、3月20日、町文化センターで、「桜薫るコンサート」を開きました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためコンサートを実施できませんでした。今回、高校1年生の前部長も参加して実施することができました。

多くの町民や保護者が見守る中、第1部と第2部で計10曲を披露。会場を大いに沸かせました。

子どもの視点で考える

黒坂小学校3・4年生が「まちづくり」について発表



地域のことについてたくさん調べました！

3月18日、黒坂小学校の3年生と4年生の4人が役場を訪れ、まちづくりについて調べた成果を発表しました。

これは、「総合的な学習」の一環で、自分の住む町の事について調べること、地元への興味や愛着を持ってもらうと行われているものです。

当日は、濱岡ささらさん（中菅）、頭本帆花さん（下黒坂）、池座直菜さん（黒坂）、池平絆佳さん（黒坂）が、「もっとやさしい町へ」と題して、それぞれが考えるまちづくりについて発表。埜田町長は、発表を聞きながら「どのアイデアもすばらしく、参考にしたい」と感心していました。

普段とは違った姿でまちなか散策

和服で日野町ツアー

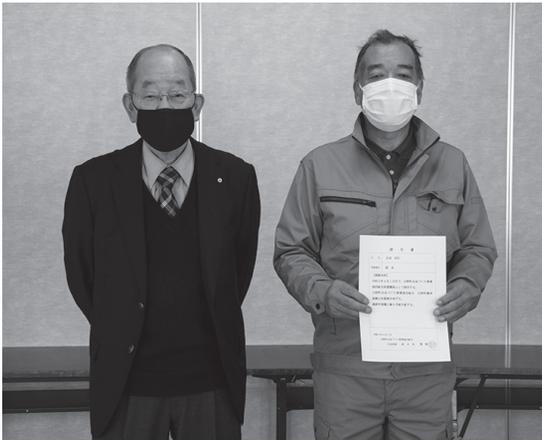


色とりどりの和服で町内を散策

3月12日と14日、「和服で日野町ツアー」（和想館米子店主催）が行われました。

当日は、奥日野ガイド倶楽部の案内で、25人の参加者が町内を和服で散策。昼食でたたらそばを堪能し、金持テラスひので福よせ雛を観たり、古民家「沙々樹」で抹茶を一服をしたりと、町内の観光地を巡りました。

金持神社では、「宝くじが当たりますように」と祈願する姿も。参加者は、「日野町の良さと、人の温かさに触れることができた。また友人と訪れたい」と、満足そうな様子でした。



辞令書を手にする石田さん（右）

4月1日、国の「特定地域づくり事業協同組合制度」を基にした「日野町未来づくり事業協同組合」の辞令交付式が、町商工会で行われました。農林業の人手不足を解消しようと設立された同組合は、組合員である事業者に人手が必要な時期に、職員を派遣。安定した雇用機会を提供します。同組合の派遣職員第1号となった石田信行さん（中菅）は、「家で農業をやっていたので、手助けになればと思った。今後この制度がもっと広がっていいんじゃないか」と話しました。

### 「日野町未来づくり事業協同組合」辞令交付式

## 農林業派遣職員の第1号に



快適な公共交通サービスを届けます

町では、より快適に公共交通サービスを利用できるよう、県内初となる町営タクシーの運行を4月1日より開始。同日、日野町営交通車庫前で、日野町営タクシー出発式が行われました。日野町営タクシーは、町自らがタクシーの運行管理者となり、日本交通に管理運行を委託。利用の多い昼の時間帯は4台のタクシーが運行し、ドアツードアで、利用者の外出ニーズに応えます。出発式で、日本交通の山本晴正さんは、「高齢者の足を守る仕組みを作ることが大切だ」と話しました。

## 県内初の町営タクシーが運行開始

### 日野町営タクシー出発式

## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第92回

### 「きんよりごし」

日野弁では、「いたしい」「えらい」「けんびき」に「る」など、体調や病気に関わる独特の表現が多々ありますが、皆さんは「きんよりごし」が何のことかわかりますか？「きんよりごし」と聞かされて腰痛になりそうな経験者も多いでしょう。そう、「ぎっくり腰」のことなのです。その語源を調べてみると、「きやり腰」という茨城周辺の方言に行き当たりました。この言葉もぎっくり腰のことを指しますが、この「きやり」とは「木遣り」、つまり、重い木材を大人数で運ぶ作業のことである、という説があるようです。なるほど、患者が続出しそうなシチュエーションですね。この「きやり」が訛って「きんより」となったのでしょうか。ここでもう一つの説も登場します。「きやり」は痛みのこと、すなわち「きやり」と痛む「きやりや痛む」という言葉もあるとか。そう言われれば確かにあの痛みは「きんより」痛い気がしませんか？

協力：日野町歴史民俗資料館友の会



川上 博史さん（本郷）

## 行政や暮らしの困りごとなど ご相談ください

### 行政相談委員を委嘱

行政相談委員は、総務大臣から市町村ごとに委嘱され、皆さんから行政サービスへの要望や暮らしの困りごとなどを聞き、解決のための助言や、関係機関への連絡などを行っています。

今回、4月1日付で行政相談委員として、川上博史さん（本郷）が引き続き委嘱されました。任期は、令和5年3月31日までです。

毎月開催されている行政相談の日程は、広報ひの「くらしのカレンダー」に掲載するほか、防災行政無線でもお知らせします。お気軽にご相談ください。

【問合せ先】総務省鳥取行政監視行政相談センター  
（電話 0857-24-5541）